出雲北陵月報

No. 495
令和8年11月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社　印刷

吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクール全国大会 銀賞！
合唱部 全日本合唱コンクール全国大会 銅賞！

吹奏楽部

第74回全日本吹奏楽コンクール全国大会
時　11月1日
於　アクトシティ浜松



本校としては4年連続18度目となる全国大会である。「全国大会金賞」を目標に掲げ、本年度のテーマである「奮迅」を胸に、部員達は3年生を中心に、日々の地道な練習を積み重ね大会に臨んだ。

本番当日は早朝から練習を行い、万全の準備を整えた。ステージでの生徒達は堂々とした態度で、日頃の練習どおり気持ちのこもった素晴らしい演奏を披露した。演奏後、観客からは大きな拍手をいただいた。結果、高等学校前半の部で銀賞を受賞した。目標であった金賞には届かなかったが、生徒達の演奏は誇らしいものであり、生徒の日々の弛まぬ努力に拍手を送りたい。

全国の舞台で演奏できたのも、日々様々な面でサポートしていただいた保護者の皆様、地域の方々を始め、多くの支えがあっての結果である。この場をお借りして、御礼申しあげたい。

今後も変わらず精進し、地域の方々に愛されるバンドを目指し、努力していきたい。

（顧問　原田　実）

合唱部

第79回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門Aグループ
時　10月24日
於　大阪市　フェスティバルホール

3年連続、22回目の全国大会出場を果たしたが、今回は本校合唱部としては最小人数の18名でのコンクール参加となった。その分部員一人ひとりの責任は重く、最後まで個人のレベルアップを図ることに時間をかけて取り組んだ。また、自由曲ではプロのヴァイオリン奏者の方と協演する試みにチャレンジし、新しい合唱の世界を追求することができた。

コンクール本番では、ほどよい緊張感の中、今までの練習の成果を遺憾なく発揮することができた。しかしながら、結果は銅賞で残念な気持ちもあるが、多くの他団体の演奏を直接聞くことができ、あらためて全国の壁の高さ、厚さを肌で直接感じるよい機会となった。今一度基本を大切にしながら、更に演奏のクオリティ、個人の技量を高められるように練習に励んでいきたい。

（顧問　布野浩志）

なぎなた部

第53回中国なぎなた選手権大会
時　11月1日
於　出雲だんだんとまとアリーナ

【演技競技】
〈高校生の部〉
2位
曽田小夏(3-4浜山)・安田結衣(3-3大社)　チーム
3回戦敗退
吉田千秋(2-4鰐淵)・齋藤桜生(2-3澗北)　チーム
佐藤晴香(1-3邑智)・堀内琳加(1-4陽向)　チーム
1回戦敗退
佐藤花春(1-5出一)・岡田一之介(3-4斐西)　チーム

【個人試合】
〈高校女子の部〉
2位　安田結衣
ベスト8　堀内琳加
4回戦敗退　曽田小夏・吉田千秋
3回戦敗退　齋藤桜生
2回戦敗退　佐藤花春
〈高校男子の部〉
2位　岡田一之介
3回戦敗退　岩﨑由佳(中2-2陽北)
〈中学生の部〉
○大会総評
この大会は小学生から一般までの大会。3年生が最後の大会で活躍した。今大会での課題を今後の大会に生かしたい。応援有難うございました。

（顧問　井上美代）

男子バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会優勝
12回目のウィンターカップ出場決定！

時　10月30・31日
於　カミアリーナ
準決勝　決勝　時　11月6・7日
於　鹿島総合体育館

1回戦　シードにより不戦勝
2回戦　本校 86－66 浜田商業
準々決勝　本校 69－57 松江工業
準決勝　本校 71－56 明誠
決勝　本校 75－61 松江東
優勝（3年ぶり12回目）
ベスト5賞　坂田　凛(3-2三)
田村　琉(3-4出)



○大会総評
本校は持ち味の堅守速攻で快勝し、3年ぶり12回目の優勝を果たした。

松江東とは今季3度目の頂上対決。過去2回は惜敗し、その雪辱を果たすためにチーム一丸で挑んだ。

今大会は3年生も多く残り、土台を保ちながら万全な準備ができた。また下級生も少しずつ経験を積み成長した。攻撃・守備の制度も県総体の頃よりも向上し、チームのバランスも良くなっていった。なかなかまとまらない時期もあったが、最後はチームとしてひとつになれたことで、有終の美を飾ることができた。

しかし、全国大会に向けて課題も多く残っている。強度の高い守備を構築し、攻撃のバリエーションも増やさなければならない。我々のスタイルである堅守速攻に、更に磨きをかけ、全国の舞台で出雲北陵をしっかりアピールできるよう、彼等とともにこれからも精進していきたい。

最後になりましたが、理事長、校長先生はじめ、会場で声援をいただいた教職員の皆様、保護者の皆様、女子バスケットボール部員、OBの皆さんに心より感謝申しあげます。

（顧問　手島幹人）

男子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス新人戦
時　10月23～25日
於　石見海浜公園テニスコート

〈団体戦〉　2位
中国選抜大会への出場権獲得
2回戦　3－0　三刀屋
準々決勝　2－0　横田
準決勝　2－0　安来
決　勝　0－2　松江工業
〈個人戦〉
B8　杉本　凪(2-2 羽農)・木村一心(2-1 斐東)ペア
佐藤宏祐(2-4 一浜)・服部元翔(1-5 羽農)ペア
中林冬芽(1-4 河南)・勝部太智(1-2 河南)ペア
※5ペアが県高校選抜インドア大会への出場権獲得



○大会総評
3連覇を目標に挑んだ大会であったが、団体、個人とも悔しい結果となった。この経験を生かし、1月の中国選抜大会に向けてしっかりと準備していきたい。大会期間中には多数の保護者、OBの方に応援していただき有難うございました。
（顧問　佐々木雄志）

女子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス新人戦
時　10月23・24日
於　江津中央公園テニスコート

〈団体戦〉　**優勝**
中国選抜大会への出場権獲得
団体メンバー（今田・末田・牛尾・村尾・水永・三原・杉谷・谷）
2回戦　3－0　隠岐
3回戦　2－0　大社
準決勝　2－0　出雲
決　勝　2－1　松江南
〈個人戦〉
優勝　今田　心(2-3 江津)・末田美雨(1-3 羽農)ペア
2位　牛尾真緒(2-1 青陵)・村尾竹音(1-3 江津)ペア
3位　水永成実(2-3 益東)・三原夏帆(1-3 出三)ペア
B16　杉谷　晶(1-4 大一)・谷　心愛(2-1 西嶺)ペア
B32　井上陽音(1-3 羽農)・岡　凛華(1-4 出二)ペア
※5ペアが県高校選抜インドア大会への出場権獲得



団体優勝メンバー



優勝した今田・末田組

○大会総評
中国選抜大会優勝を目指して精進していきたい。たくさんの応援有難うございました。
（顧問　金森　快）

女子バスケットボール部

島根県高校バスケットボール選手権大会
時　10月30・31日
於　浜山体育館

2回戦　本校　57－72　出雲
○大会戦評
前半から相手チームに良い入りを許し苦しい展開となった。後半何とか粘りを見せた場面もあったが最後まで点差を詰めることはできず、悔しい敗戦となった。3年生を中心に本校らしいプレイも随所に見ることができた。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方々よりご声援いただき、誠に有難うございました。
（顧問　篠原勝利）

卓球部

島根県高等学校新人卓球大会
時　10月22～24日
於　鹿島総合体育館

〈男子シングルス〉
優勝　天野遥空(1-3 錦台)
3位　松崎優樹(2-3 北陵)
B8　波多間怜偉(2-3 北陵)



シングルス優勝の天野

○大会総評
個人戦で優勝を果たしたものの、全国の舞台で勝ち抜くためには、フィジカルの強化、技術の精度、戦術の多様性が求められる。日本一を掴むために、妥協のない挑戦を続けていきたい。
（顧問　古瀬泰之）

陸上競技部

第77回島根県高等学校駅伝競走大会
時　10月31日
於　浜山

1区　竹谷しん(1-5 出一)　区間11位
2区　高橋蒼汰(1-2 平田)　区間11位
3区　高橋優澄(3-5 出三)　区間9位
4区　高橋昂聖(3-3 出一)　区間10位
5区　飯島翔太郎(3-5 出一)　区間9位
6区　三島真音(2-4 出一)　区間10位
7区　和田　翼(1-3 平田)　区間7位
結果　10位
○大会総評
出雲北陵高校男子単独チームとしては25年ぶりの出場となり、選手達はこれまで積み重ねてきた練習の成果を発揮すべく、一本の襷に思いを込めて最後まで力強く走り抜いた。大会には合同チームを含む14チームが参加し、本校は単独チームとして10位という結果を収めた。大舞台で仲間と共に挑戦した経験は、選手達にとって大きな自信と今後への課題を得る貴重な機会となった。この大会出場にあたり、温かいご声援とご支援をいただいた保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様に心より感謝申しあげます。有難うございました。
（顧問　中澤　悟）



スポGOMI甲子園

時　11月22日
於　東京都江東区

7月の県予選を突破したインタークトクラブの錦織禎(1-2 平田)、藤原娃愛(1-2 大社)、宮本美咲(1-2 出三)のチームが島根県代表として出場した。
短時間の作戦タイムで競技エリア内のゴミが多そうなポイントを推測しなければならず、土地勘がない中で作戦を練ったが、入賞には至らなかった。生徒達は協力してお台場の街をきれいにする活動ができた。
（顧問　柳樂正也）



インターアクトクラブ

高瀬川クリーン作戦

時　11月8日
於　出雲市内高瀬川流域

出雲南ロータリークラブが主催する「高瀬川クリーン作戦」があり、インターアクトクラブ生徒10名が参加した。

上流で川の水を止めて、足首くらいまで水位が下がったところで、川底清掃をした。空きビン・空き缶・落ち葉などの小さなゴミから、流木といった大きなゴミまで、2～3キロほどの清掃区域の中で多くのゴミが集まった。

平成12年から続いている活動ということもあり、ゴミの量は年々少なくなってきている。

急に秋めいてきて、冷たい川の中での2時間ほどの活動だったが、終えた時の気分は晴れやかで清々しくなった。



美術部

出雲地区絵画コンクール

時　10月23日
於　出雲大社境内



1・2年生の19名が参加した。穏やかな写生日和となり、油絵や水彩の風景画に取り組んだ。短時間で仕上げなければならないコンクールで大変だったが、生徒は楽しみながら真剣に制作に取り組んでいた。

参加した全員が入選し、中でも4作品が特選に選抜されるなど今後につながる良い結果となった。

（顧問　石倉　正）

写真部

2026年度第2回TopEyeフォトコンテスト
原宗右介が金賞・入選W受賞！

ニコンイメージングジャパンが主催する「第2回TopEyeフォトコンテスト」に応募したところ、原宗右介（2-1平田）が単写真部門「金賞」、組写真部門「入選」をダブル受賞した。ちなみに金賞は「TopEye賞」に次ぐ第2位の成績である。このフォトコンテストは第3回までの「入賞ポイント」の合計が全国10位以内に入ると、来春に行われる「TopEye全国高校生写真サミット2027」への出場資格が与えられる。本校は第1回コンテストでも原宗右介が単写真部門で入選を受賞し、現在90ポイントで暫定全国7位につけている。第3回コンテストで出場できるかどうかが決定する。結果に関係なく、挑戦できること自体に深く感謝している。

単写真部門
【金賞】「ふれる」原宗右介
組写真部門
【入選】「ふくちゃんの反抗期」原宗右介

（顧問　村上　学）

吹奏楽部

出雲ドームかみあり
吹奏楽フェスタ2026

時　11月7日
於　出雲ドーム

本年はゲストとして兵庫県の滝川第二高等学校吹奏楽部の皆さんに出演いただき、チケットは完売となり、大変盛り上がった会であった。

本校は、今月末に行われる全国大会を前にしての演奏会であり、部員達は一丸となって練習に取り組み、本番では立派なパフォーマンスと演奏を披露した。

11月22日に大阪城ホールで行われる全国大会では最高の演奏演技ができるよう、更に努力を重ねていきたい。

佐田ごっとこい祭り
いずも産業未来博
山陰ヤクルト創立60周年記念フォーラム

時　11月3・14日
於　佐田行政センター
　　出雲ドーム
　　出雲市民会館

標記の3つのイベントに出演させていただいた。いずれのイベントも多くの地域の方が参加されており、非常に盛り上がった会となった。

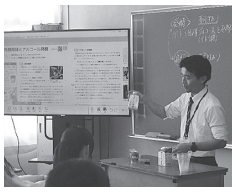
今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらず精進していきたい。

（顧問　竹内康貴）

公開授業（6年目研修）

10月29日㈭、本校に着任して6年目を迎える中澤悟教諭（理科）・高橋弘子教諭（国語）・和田拓真教諭（保健体育）の公開授業が行われた。この公開授業は授業力向上に向けて、教科指導を研鑽する目的で実施している。3名の先生は生徒の理解定着を目指し、生徒一人ひとりに目を向けた質の高い授業を展開した。







職業人講話

時　11月10日
於　本校

本校キャリア教育の一環として、1年生を対象に「職業人講話」が開催された。生徒達は20職種のブースの中から4職種を選び、それぞれの職種の苦労話や、資格取得するための上級学校の選び方などを聞き、将来の進路選択について考える良いきっかけになったと思う。協力していただいた皆様に厚くお礼申しあげます。





企業ガイダンス

時　10月27日
於　本校

本校キャリア教育の一環として、2年生を対象に「企業ガイダンス」が開催された。

出雲市内を中心に25社の企業が来校され、各企業ブースを設置し、生徒は一人4社の説明を受けた。

次年度の進路決定に向けての意識付け、将来の進路選択に参考になったと思われる。参加していただいた企業の皆様に厚くお礼申しあげます。





第32回出雲北陵高等学校 英語レシテーションコンテスト

時　11月3日
於　北陵ホール

32回目となる本校主催のレシテーションコンテストが開催され、小学生の部に8名、中学生の部に26名の参加があった。島根大学外国語教育センター教授カーメラ・リスキー先生を審査委員長にお招きし、厳正な審査が行われた。

入賞者は次の通り。

＊団体賞（出雲市長杯）
島根大学教育学部附属義務教育学校
〔4年ぶり9回目〕

＊個人賞
〈最優秀賞〉
小学生の部　奥井王都（塩冶小2年）
中学生の部　江角心音（島大附属9年）
〈優秀賞〉
小学生の部　奥井太凰（塩冶小5年）
中学生の部　奥井　開（出雲南中1年）
　　梶谷桐佳（向陽中2年）
　　原　渚紗（平田中3年）
〈奨励賞〉
小学生の部　岩田恵佑（川津小4年）
　　末吉陽葵（川津小4年）
　　岩田大輝（湖陵中3年）
　　河瀬杏音（平田中3年）
　　岸本彩良（出雲北陵中2年）
　　柴田直知（浜山中3年）
　　菅谷優木（島大附属8年）


小学校の部受賞者の皆さん


島根大学教育学部附属義務教育学校の皆さん


中学生の部受賞者の皆さん

中学校

卓球部

全日本卓球選手権大会（カデットの部）

時　11月6～8日
於　高崎アリーナ（群馬）

〈14歳以下男子シングルス〉
ベスト8（ランキング5位）
　清水寛生（中2-2 藍見）
2回戦敗退　今福瀧司（中2-1 門沢）
〈13歳以下男子シングルス〉
ベスト16　垣原政仁（中1-1 光）
2回戦敗退　小笠原太羅（中1-2 原別）
〈男子ダブルス〉
2回戦敗退　清水寛生・今福瀧司 組

○大会総評
　清水が全日本カデットにおいては創部以来初となるランキング入りを果たすことができた。今回の経験を今後の練習やチーム全体への好影響へと繋げ、更なる高みを目指して精進していきたい。
（顧問　古瀬泰之）


5位入賞の清水寛生

東京・大阪・名古屋OP島根県予選会

時　10月31日
於　出雲だんだんとまとアリーナ

〈男子シングルス〉
優勝　清水寛生　【東京・大阪出場】
2位　垣原政仁　【東京・大阪・名古屋出場】
3位　今福瀧司　【東京・大阪・名古屋出場】
4位　小笠原太羅　【東京・大阪・名古屋出場】
5位　菅原梨功（中2-1 中筋）
　【東京・大阪・名古屋出場】
9位　福島陽希（中2-1 横尾）【名古屋出場】
10位　村守結仁（中1-2 東中）

○大会総評
　日々の練習に真摯に取り組んできた成果が結果として表れ、選手達の成長を感じる大会となった。全国の舞台で勝ち上がるためには、更なる技術力の向上はもちろん、試合の流れを読む力や精神面の強化が必要だと感じている。本戦でも上位に進出できるように、引き続き精進していきたい。
（顧問　古瀬泰之）

バスケットボール部

島根県中学校新人バスケットボール大会 中部地区予選会

時　11月7・8日
於　出雲だんだんとまとアリーナ

【男子】
予選トーナメント
1回戦　本校　135－5　平田
ブロック決勝
　本校　108－27　MITOYA SUNKINGS
予選トーナメント　1位
決勝戦　本校　93－42　BLAZE BULLS
　結果　**優勝**（県新人戦出場決定）

○大会総評
　決勝戦では、気持ちのこもったプレーができた。ご声援有難うございました。
（顧問　多々納厚比古）



【女子】
予選トーナメント
1回戦　本校　59－50　出雲三
準決勝　本校　49－61　PANTHERS Jr.
　予選トーナメント　2位
3位決定戦　本校　52－40　河南
　結果　3位（県新人戦出場決定）

○大会総評
　一年生チームで臨んだ大会となった。体の強さやプレーの精度、戦術への対応力など、今大会の課題に真摯に取り組み県新人戦に繋げたい。ご声援有難うございました。（顧問　和田拓真）



国際交流ひろばワークショップ



時　11月11日
於　本校

今年度は、ブラジル・アイルランド・中国・ベトナム・フィリピンの講師の方々をお迎えし、学年ごとに異国の文化に触れ交流を深めた。1年生は「教育とスポーツ・学校とライフスタイル」、2年生は「伝統文化・行事とわたしたちのちがい」をテーマに講話を聞き、3年生は調理実習でアイルランドの伝統料理ジャンボンを作った。

いずれも非常に充実した時間を過ごすことができた。講師の先生方からも、本校の生徒と交流できて良かったと喜びのコメントをいただき、素晴らしいワークショップとなった。

出雲科学館 理科学習（中学1年）

時　11月9日

中学1年生を対象に出雲科学館理科学習が開催された。「物質の姿と状態変化」をテーマに、1時間目はサイエンスホールにおいて、液体窒素やガスバーナーなどを使って物質が状態変化する様子を観察した。2・3時間目は実験室に移動し、水とエタノールの混合物の蒸留を行った。生徒達はグループで役割分担をして実験に取り組み、積極的に発表もするなど理解を深めた。

小学生対象 体験講座

11月14日(土)に体験講座を開催し、写真部体験を設け、市内の小学生に参加していただいた。また体験講座に合わせて、入学説明会と個別相談、部活動体験（野球・バスケ・卓球・なぎなた・テニス）も行った。説明会にも多くの方に参加していただき、賑やかな1日となった。

第2回 合同道徳

時　11月16日
於　北陵ホール

手銭副校長先生による合同道徳が行われた。

今回は「命・生き方を考える」をテーマに先生御自身の経験や、吉田松陰、ガンディーといった歴史上の偉人達の言葉を紹介しながら、生徒へ命の大切さや尊さについてお話をされた。

【生徒の感想】

私は今回の合道道徳を通して二つの事を考えました。一つ目は、当たり前はないという事です。最近は進路の事でたくさん悩むことが多く、「いやだな」や、「辛いな」と思うことが増えていました。でも、今回の話を聞いて、悩めている事も、いやだな、辛いなと思えていることも当たり前ではなく、とても大切な事なのだと感じました。

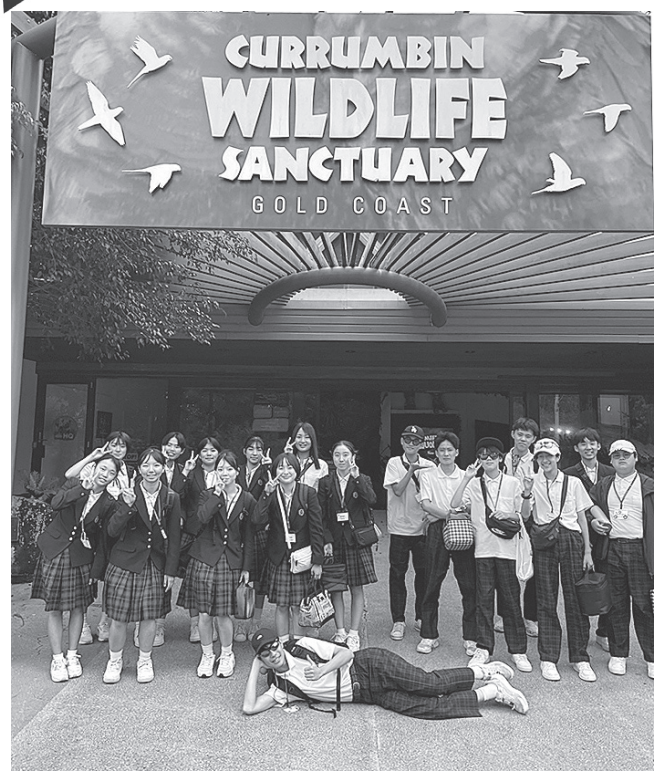
二つ目は、明日からにしようという事は絶対にやめようということです。私はよく、明日から勉強しよう、明日から○○しようなど、物事を先延ばしにしてしまうことがあります。けれど、もし明日が来ない、明日何かが起こるんじゃないかと考えると、明日からでは絶対に後悔してしまいます。だから、私はこれから面倒くさいな、嫌だなと思うことがあっても、後回しにせず、思い立ったときにすぐ行動に移して、目標実現のために日々頑張っていきたいと思います。

私の心に残った言葉は「明日死ぬかのように生きよ」というガンジーの言葉です。この言葉のように、一日一日を大切に楽しく、感謝の気持ちを持ちながら、一生懸命生きていきたいです。

山下ちゅら（中3今市）

オーストラリア語学研修旅行

中学3年生



令和8年度
オーストラリア語学研修旅行
時　10月19～27日
於　ブリスベン

中学3年生18名がオーストラリア語学研修旅行に出かけた。関西国際空港からシンガポール経由でブリスベン空港へ降り立ち、その日の朝から観光というハードスケジュールではあったが、生徒達は明るく元気に乗り越えていたと思う。

ウィズダムカレッジでのバディとの交流やホームステイ先でのホストファミリーとの交流を通して、英語を実際に使って話すことに対する自信を深めた。現地の先生からも、「あなたの生徒達は英語が上手だし、反応も良く、英語を学ぶ姿勢がとても良い。」というお褒めの言葉を頂いた。この研修を通して、色々な面でたくましく成長してくれたことを嬉しく思う。

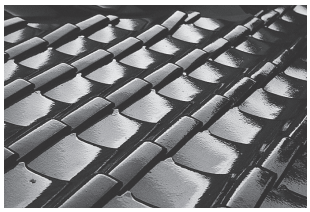
この研修に際して、保護者の皆様をはじめ、多くの方々のお世話になり心より感謝している。本当に有難うございました。

（中学3年担任　村上　学）

作品と研究

令和8年度 秋季写真コンクール 特選作品集





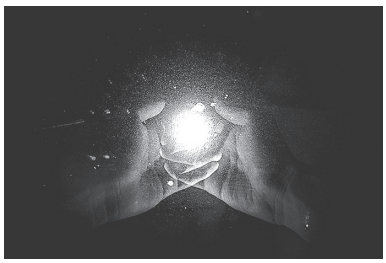
「移ろいゆく」
伊藤　璃梨華（1-3 河南）



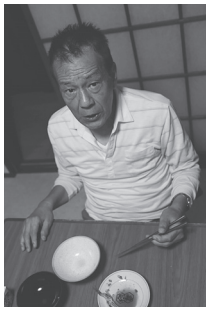
「ぬくもり」
春日　心（1-2 湖陵）



「そこから見える景色」
宮本　美咲（1-2 出三）



「core」
原　宗右介（2-1 平田）





「おかわり!!」
景山　双葉（2-3 大二）



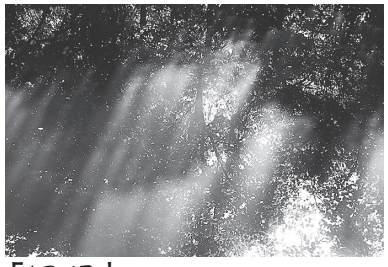
「夢の端」
安食　有紗（2-3 出二）



「ZONE」
エトウ ソガ リエ（2-1 出一）

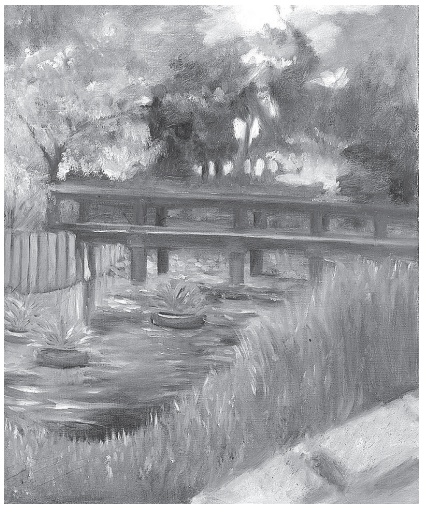


「勤め」
持田　一真（2-3 平田）



「深緑」
錦織　遼飛（2-2 出一）

今月の1枚　高文連出雲地区絵画コンクール特選作品



足立　麗衣（1-6 木次）